項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

1．農業委員会費

農業委員は、知識と資質の向上に務めるべく研修を毎年行っているが、本年は道外視察研修を１２月１日から３日まで農業委員１１人の参加で実施した。また、遊休農地の発生防止に向けて農業委員と事務局職員による「農地パトロール」を８月８日に実施した。農業経営基盤強化促進法に基づく、所有権移転及び賃借の手続きが農地中間管理事業の推進に関する法へ制度移行となり、原則北海道農業公社を通じて行うこととなった。

１．農業委員会開催実績
令和７年４月から令和８年３月まで　　１２回

２．審議

区　　分			件数	面　積(ha)
農地法	譲　渡	贈　与（3条）	6	209.5
		売　買（3条）	5	36.5
	貸　借（3条）		9	93.2
	農地転用	4　条	2	0.2
		5　条	4	0.3
		計	6	0.5
		一時転用	1	1.9
	その他（3条）		0	0.0
農地中間管理事業の推進に関する法※	所有権移転	売　買	1	0.6
		贈　与	0	0.0
	賃　借	賃貸借	100	470.0
		使用貸借	0	0.0
現　況　証　明			11	2.0

※農業経営基盤強化促進法から制度移行

３．委員会決定事項に基づく活動状況
（１）農用地利用調整協議会活動　　（実人数）

区　　分	譲渡・貸人	譲受・借人	面　積　(ha)
所有権関係	1	1	0.6
貸借権関係	28	79	470.0
計	29	80	470.6

（２）嘱託登記
・住所変更　　２件
・所有権移転　　９件
（３）小委員会等活動状況
・農地小委員会　　４回
・農業振興小委員会　　１回

４．主要業務実績
（１）農地等一括生前贈与に係る税金関係・新規申請
・贈与税納税猶予（暦年課税）　　０件
・不動産取得税徴収猶予　　０件
（２）農地等一括生前贈与に係る税金関係・継続申請

区　　分	件数	猶予税額
贈与税納税猶予	2件	7,174,400円
不動産取得税徴収猶予	8件	780,100円

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

（３）諸証明事務

・不動産取得税特別控除に係る証明　　１件
・登録免許税軽減措置に係る証明　　１件
・農用地証明　　１件
・譲渡所得税特別控除に係る証明　　１３件
・営農証明　　７件

（４）農地パトロール

令和７年８月８日に全町パトロールを実施。

（５）農業委員視察研修

と　き　令和７年１２月１日～３日
ところ　沖縄県

育苗ハウスの再利用を検討するため､名護市ナゴパイナップルパークにて、パイナップル歴史や栽培について研修をおこなった。翌日、ファーマーズマーケットいとまんにて、沖縄で生産されている作物の栽培方法（温度管理等）について、生産者方と意見交換会を行い栽培できる作物について検討を行った。

（６）農業者年金推進事業

代議員会　　令和７年５月９日　　庁議室

区　分	加入者数（被保険者）	受給者数				
		計	新制度		旧制度	
			老齢年金	特例付加	老齢年金	移譲年金
７年度新規	16	10	5	3	2	0
７年度末実績	255	286	63	45	48	130
支給額	82,409,188円					

２．農業振興費

１．概要

令和７年度の農業を顧みると、比較的好天にめぐまれたが、夏の記録的な高温により干ばつ被害が発生し、作物への影響が懸念された。

畜産を含めた全体の販売額（農畜産物販売高）は初めて５００億円の大台を突破し、過去最高の５２５億円を記録した。

農業をめぐる情勢は、慢性的な労働力不足に加え、生産資材の価格が高止まりするなど、農家経営は厳しさを増している。

こうした中で、本町農業の持続的発展を図るためには、需給動向を踏まえた計画的な作付け、生産コストの低減、食安全保障の強化など、消費者及び実需者のニーズに応えていくとともに、環境負担の軽減など環境と調和のとれた農業生産により、消費者等の信頼を得ていく取り組みが必要となる。

このため、各種町単独事業の継続的な実施及び各種補助事業の積極的な活用をはじめ、施設等整備に対する長期低利子融資制度の活用、関係機関と連携した各種施策の推進等を行うことにより、足腰の強い農業・農業者の育成等を図ることができた。

２．農業の動向

（１）農家数の動向　　（単位：戸）

	R7	R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27
農家数	341	347	348	352	355	360	364	365	367	373	377

※産業振興課調べ

（２）主要畑作物の作付け動向　　（単位：ha、kg/１０a）

	馬鈴薯	てん菜	大豆	小豆	菜豆	小麦	ｽｲｰﾄｺｰﾝ
令和 7年	2,023	1,869	901	871	330	2,288	616
令和 6年	2,022	1,930	920	844	306	2,288	620
令和 5年	2,047	1,991	815	848	289	2,312	616

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

令和 4年	2,034	2,124	797	782	327	2,297	623
令和 3年	2,057	2,160	738	742	371	2,305	631
令和 2年	2,104	2,090	631	931	370	2,272	623
平成27年	2,076	2,210	551	806	536	2,440	597
平成22年	2,150	2,230	270	777	549	2,610	571
平成17年	2,067	2,360	426	910	614	2,451	439
平成12年	2,539	2,345	293	879	513	2,352	443
平成 7年	2,800	2,361	126	791	615	2,104	406
平成 2年	2,990	2,315	109	585	612	2,492	312
昭和60年	3,200	2,283	223	602	421	2,243	146
令和7年反収	3,932	6,746	349	275	215	689	1,621
平年反収	4,034	6,414	288	276	212	625	1,546
指　　数	97	105	121	99	101	110	105

３．農業振興対策事業の実施状況

強い農業づくり事業補助金等により地域活性化に向けた事業を実施し、国・道費を伴う補助事業の積極的な活用による農業振興の推進を図った。

（１）国・道費等を伴う補助事業等　　（単位：円）

事業種目名		事業内容	事業費	補助金
①	農業経営基盤強化資金利子助成金	スーパーＬ資金借入農家への一部利子補給	813,976	406,972
②	経営所得安定対策直接支払推進事業補助金	経営所得安定対策の実施に係る事務費補助	99,412	99,412
③	農業次世代人材投資事業給付金	経営開始支援資金（2名）	2,250,000	2,250,000
④	農業振興施設等整備事業補助金	馬鈴薯冷蔵設備整備事業	166,650,000	64,100,000
⑤	産地生産基盤パワーアップ事業補助金	農産物処理加工施設整備補助	4,936,499,700	2,000,000,000
⑥	畑作物産地生産体制確立強化緊急対策補助金	種ばれいしょの安定供給対策（22,920a）	18,008,000	18,008,000
		豆類の安定供給対策（9,445a）	7,083,750	7,083,750
		労働負担軽減対策	14,554,100	6,600,000
⑦	地域農業構造転換支援事業補助金	強い農業づくり事業	14,333,110	3,909,000

（２）町単独補助事業等

①農畜産物対策実行委員会負担金　　２１０，０００円
②農業後継者就農激励会負担金　　４３，６１０円
③農業振興対策本部助成金　　１，６０３，３３４円
④農民組織運営活動助成金　　３，１００，０００円
⑤農業担い手支援協議会活動助成金　　６００，０００円
⑥循環型農業システム検討会活動助成金　　２０，４２０円

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

４．農業後継者関係
新規就農農業後継者調べ

年度	R7	R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27
人数	2	4	11	8	6	9	5	9	9	2	7

５．担い手育成関係
担い手支援協議会と連携し、町の将来を担う者の結婚推進に関する相談・助言・情報収集、農業後継者等及びそのグループ活動の育成確保に関する相談・助言を実施した。

６．士幌町農畜産物加工研修施設（しほろキッチン）
（１）指定管理委託
（株）Ｃｈｅｅｒｓに指定管理者として委託し、施設を管理運営させた。指定管理委託料は、施設の管理に要する経費から利用料相当分を差し引き、１６，０６０，０００円の年度協定を締結した。

（２）施設利用状況　　（　）前年度

加工室等	回　数	延べ人数
農産ゾーン	47(30)	381(208)
乳産ゾーン	33(23)	80(53)
畜産ゾーン	20(17)	81(86)
パーティールーム	1(0)	15(0)
計	90/101(70)	557(347)

※１回の研修で複数の加工室等を使う場合がある。

（３）施設使用料等　　（　）前年度

項　　目	金額（円）
施 設 使 用 料	269,905(145,985)
原材料及び包装費	626,058(273,627)
実 費 負 担	96,658(43,730)
加工手数料	50,000(0)
計	1,042,621(463,342)

（４）施設修繕
スモークハウスタッチパネル基盤修繕　　１，３７５，０００円
スモークハウス制御装置修繕　　５４５，６００円

３．農業振興基金運用事業費	１．運用事業実績

（１）一般基金

	項　　目	内　　容	金　　額(円)
歳入	基金利子収入		38,518,541
	円滑化より		5,800,000
	基金繰入金		32,751,174
	計		77,069,715

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

歳出	海外農業研修視察事業	海外農業研修視察助成	14,000,000
	農業担い手確保育英事業	農大等公的研修機関研修活動経費助成	750,000
	農薬空袋処理事業	農薬空容器処理経費助成	314,697
	農業廃棄物処理事業	農業用廃プラ処理経費助成	1,375,540
	基幹作物輪作維持支援事業	ポテトハーベスター導入助成 ※他町費　17,167,450円	25,751,174
	コントラ会事業助成金	コントラクター組織活動助成	150,000
	文化交流学生派遣事業助成金	士幌高校生ホームステイ事業	4,500,000
	積立金		30,203,184
	運営費	報酬・旅費	25,120
	計		77,069,715
年度末基金残高　574,980,267円			

（2）特別基金

１号基金（団体）

基金利子収入　１５，１４４，３５３円
寄付金収入　１０，０３８，６９９円
年度末基金残高　１，０５１，８８５，４９１円

２号基金（個人）

基金利子収入　１，１４５，６６３円
年度末基金残高　７８，８１７，７５３円

１号基金＋２号基金　１，１３０，７０３，２４４円

２．不動産保有の明細

(一般基金)

住　　所	地　　目	面　　積（㎡）
白老郡白老町字石山 109番地16	原　野	25,893
〃　109番地18	〃	15,460
〃　109番地36	〃	3,360
計		44,713
苫小牧市字植苗 112番地2	山　林	97,964
〃　112番地6	〃	17,507
計		115,471

(特別基金)

住　　所	地　　目	面　　積（㎡）
苫小牧市字美沢　1番地3	山　林	53,144
〃　1番地5	〃	13,008
〃　1番地6	〃	11,147
〃　1番地7	宅　地	1,417.19
計		78,716.19

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

4．農業振興人材育成基金運用事業費

運用事業実績

	項　　目	内　　容	金　　額（円）
歳入	基金利子収入		1,470,397
	計		1,470,397
歳出	農協青年・女性部研修講座等 しほろ農業塾 積立金 運営費	農協青年・女性部研修助成 しほろ農業塾 報酬	277,350 100,000 1,084,047 9,000
	計		1,470,397
年度末基金残高　　144,537,498 円			

5．畜 産 業 費

1．概要

本町の畜産情勢について生乳生産においては、目標数量を基に計画的な生乳生産が実施され、昨年度の生乳生産実績数量は１０８，８０８トンとなり、生乳販売高は約１２９億円と過去最高を更新した。また、個体販売においても約２６１億円に達し、前年度を上回る実績となった。

一方で、世界的な情勢不安を背景とした飼料価格や生産資材、燃料価格の高止まりに加え、石油関連製品の更なる値上げや供給不安が、農業経営を深刻に圧迫しており、営農の継続、そして将来に希望が持てる「持続可能な農業」の実現に向け、関係機関が連携した取り組みが必要である。

防疫対策については、十勝家畜保健衛生所との連携のもと防疫体制の強化を図り、十勝管内における家畜の監視伝染病発生も依然として高いことから、引き続きまん延を最小限に抑える取り組みが必要である。

なお、畜産振興として各種団体に対する助成を行ったほか、国の畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業を活用し、士幌町酪農畜産クラスター協議会において、産地の取組項目や自給飼料の生産性を高める目標等の計画を基に機械導入を行い、作業効率の向上を図った。

区分	飼養頭数（単位：頭）	飼養戸数（単位：戸）	生乳生産量（単位：トン）
乳　　牛	18,656	69	108,808
ホ　ル　雄	31,631	49	－
肉用種（F1）	26,910		－
黒毛和牛	3,230	26	－
日本短角種	9	1	－
馬	38	9	－
計	80,474	154	108,808

※飼養戸数…「飼養区分」ごとに重複あり

2．家畜伝染病予防法に基づく検査状況

家畜伝染病の発生やまん延を防止するため、法第５１条検査において継続的に発生している農家７戸に引き続き検査を実施し対策を講じ、清浄化を図った。

3．家畜改良増殖法による種畜検査

区　　分	頭　　数	備　　考
種　雄　牛	1	黒毛和牛１頭
種　雄　馬	4	シェットランド・ポニー種１頭、 日本ポニー種２頭、 日本ミニチュアホース種１頭

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

4．畜産振興助成金等事業　（単位：円）

事　　業　　名	金　　額
乳牛検定事業活動助成金	1,680,000
酪農振興協議会活動助成金	105,000
肉牛振興会活動助成金	56,000
馬事振興会活動助成金	28,000
酪農ヘルパー事業助成金	3,200,000
家畜損害防止事業助成金	3,560,000
畜舎等衛生事業助成金	1,000,000

5．酪農振興基金事業運用実績　（単位：円）

	項　　目	内　　容	金　　額
歳入	基金利子収入(1 号)		2,038,435
	基金繰入金		1,767,312
	基金利子収入(2 号)		592,697
	計		4,398,444
歳出	酪農振興基金運用委員会運営費	委員報酬	18,000
	〃	委員費用弁償	1,560
	酪農ヘルパー事業助成金	酪農ヘルパー事業助成	1,700,000
	(1 号)基金利子再積立		2,086,187
	(2 号)基金利子再積立		592,697
	計		4,398,444

年度末基金残高　324,360,953 円

（内訳　1 号：220,690,280 円
　　2 号：103,670,673 円）

6．土地改良事業費

1．土地改良事業関係

土地基盤整備の実施により農業生産性の向上と経営基盤の強化を図るため、主に暗渠排水及び石礫除去等の圃場整備を優先し、併せて、営農の基本となる湿害防止のための明渠排水、農道整備を実施し、農作業効率、農業生産の向上と湿害対策に寄与できた。

団体営事業では、農道整備事業及び、畑作等促進整備事業により明渠排水路を実施した。道営事業では、農地整備事業継続４地区（士幌川西西地区、士幌川西東北地区、士幌川西東南地区、士幌北部第２地区）、水利施設整備事業新規１地区（新田地区）、農道特別対策事業継続１地区（上居辺地区（開運・北開））を実施した。

各事業の実施状況は次のとおりである。

（1）団体営事業（事業主体：町）　（　）前年度

事業区分	地区名	事業量	事業費 (千円)	新継別	補助額 (千円・%)
畑作等促進整備	下居辺	排水路 L= 756m	(58,370) 66,138	継続	国50% 道14%
農道整備	中音更	農道 L= 300m	(42,526) 44,968	継続	—

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

（2）道営事業　　（　）前年度

事業区分	地区名	事業量	事業費 (千円)	新継別	補助率 (%)
道営農地整備	士幌川西西	区画整理 A= 21.1ha 排水路 L= 702m	(240,753) 271,824	継	〃
	士幌川西東北	区画整理 A=87.3ha	(236,547) 343,422	継	〃
	士幌川西東南	区画整理 A=70.7ha 調査設計一式	(165,973) 269,915	継	〃
	士幌北部第２	区画整理 A=40.0ha 調査設計一式	(57,981) 242,732	新	〃
道営水利施設整備	新田	排水路 L= 410m 調査設計一式 用地買収・補償	(221,434) 295,064	継	国・道 81
道営農道特別対策	上居辺 (開運・北開)	農道 橋梁下部工	(30,974) 181,967	継	道 50
計			(1,250,208) 1,604,927		

（単位：千円）

	国・道補助金	北電等	地元負担金	うち町負担金 （ＰＵ助成含む）
負担内訳	(991,755) 1,232,302	(0) 0	(258,452) 372,625	(122,189) 186,042

（3）次世代農業促進生産基盤整備特別対策事業

担い手農家の育成・確保に向けた生産基盤の整備を促進するため、国（促進費）及び道と市町村が連携して農家負担を軽減した。負担割合及び負担額は次のとおりである。

	地元負担	うち農家負担	うち促進費	うち道負担	うち町負担
道営農地整備	20.00%	7.50%	6.50%	3.00%	3.00%
負担額（千円）	174,382	65,393	56,674	26,150	26,164

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

２．町単独事業として実施した事業

農道維持工事及び明渠排水路維持工事として、清澄三の沢明渠排水工事ほかを実施し農作業効率の向上と湿害対策に寄与できた。

（前年度　７，７４８千円）

農道維持工事　事業費　１２，２６１千円

（前年度　１１，１４７千円）

明渠排水維持工事　事業費　６，４６４千円

３．多面的機能支払交付金事業

平成１９年度から実施している農地・水・環境保全向上対策事業は、平成２４年度より農地・水保全管理支払交付金事業、平成２６年度より多面的機能支払交付金事業として町内農村部全９地区が地域環境美化、農地維持活動等の共同活動を行い、多面的機能の維持・発揮を図った。

地区名	農用地面積 (ha)	交付金 (千円)	うち町負担 (千円)
西　上	1,393.70	14,673	3,668
上居辺	2,599.77	33,919	8,479
中士幌	926.71	10,941	2,735
士幌南	2,004.06	24,829	6,207
佐　倉	1,498.21	12,356	3,089
士幌北	1,507.69	18,175	4,543
下居辺	1,116.35	9,440	2,360
北　中	1,731.44	10,773	2,693
新　田	1,629.30	8,805	2,201
計	14,407.23	143,914	35,978

７．農地利用集積円滑化事業基金運用事業費

１．事業による管理地

	管理件数	面積 (㎡)	取得価格 (円)	利子補給金 (円)	管理費 (円)
令和７年度末管理地	22	1,486,587	210,103,943	3,309,127	1,731,519
令和７年度指定管理地	0	0	0		

２．運用事業実績

	項　　目	内　　容	金　　額（円）
歳入	基金利子収入		4,309,096
	基金繰入金		8,050,214
	計		12,359,310
歳出	管理費補助・利子補給金		5,040,646
	振興基金へ		5,800,000
	積立金		1,495,304
	運営費	報酬・旅費	23,360
	計		12,359,310
年度末基金残高　325,088,793円			

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績
８．林業振興費	１．民有林振興対策事業 林業を取り巻く情勢は、ウッドショック後の木材価格の落ち着きとともに、国産材利用への関心の高まりなど、一部で回復の兆しが見られているが、伐採後の再植林を積極的に進めなければ、今後、造林未済地が増加することが懸念される。一方、森林の二酸化炭素吸収による地球温暖化防止や地球にやさしい循環資源である木材利用の拡大など森林・林業に対する期待が高まっている。 このような状況を踏まえ、国や道による各種施策が展開され、本町においては、関係機関と連携して林業の振興や民有林の整備を推進した。 （１）豊かな森づくり推進事業 伐採後の確実な植林等を実施することにより、森林資源の循環利用を推進し、森林の持つ多面的機能の発揮を図るため、植栽事業の経費の一部を補助した。

事業種	事業量(ha)	実施者への補助金(円)	うち道補助金(円)
造　　林	41.35	8,367,010	5,144,666
計	41.35	8,367,010	5,144,666

（２）輝く未来につなぐ森林整備事業

植林後の下刈り、保育間伐等に支援することにより、森林資源の循環利用を推進し、森林の有する多面的機能の発揮を図るため、下刈・保育間伐事業の経費の一部を補助した。

事業種	事業量(ha)	実施者への補助金(円)	うち森林基金(円)
下　　刈	115.03	3,794,820	3,794,820
保 育 間 伐	23.18	1,623,517	1,623,517
計	138.21	5,418,337	5,418,337

（３）森林認証

平成２７年度に十勝管内１７市町村と１２森林組合、その他２０法人及び個人の森林所有者でとかち森林認証協議会を組織し、第三者機関による森林認証「ＳＧＥＣ」を取得。町内の民有林２，１９１haの森林認証を受けている。

２．林業関係団体負担金

（１）北海道治山林道協会十勝支部負担金　　７０，０００円
（２）十勝流域森林・林業活性化センター負担金　　３８，０００円
（３）北海道造林協会負担金　　６９，０００円
（４）森林整備担い手対策推進事業負担金　　７４，２００円
（５）とかち森林認証協議会負担金　　２００，１００円

３．有害鳥獣駆除事業

猟友会の協力を得て個体数調整捕獲や巡回などの実施により、エゾシカの生息環境等の変化に伴う広範囲での農業被害の発生を抑制することができた。また、捕獲の担い手不足が課題とされている中、新規の猟友会会員が１名入会となった。

カラスやキツネ等の箱わなによる捕獲の通年実施により、農畜産業被害や生活環境被害を軽減することができた。

エキノコックス対策事業として駆虫薬を町内全域に散布し、キツネのエキノコックス感染率を抑制することができた。

平成２２年度に組織した士幌町鳥獣被害防止対策協議会（構成団体：士幌町農業協同組合、十勝大雪森林組合、猟友会士幌部会、十勝総合振興局農業改良普及センター十勝北部支所、士幌町）では、有害鳥獣の一斉捕獲など鳥獣被害防止対策の実施により、有害鳥獣による農業被害等を軽減することができた。また、鳥獣被害防止柵導入助成事業の令和７年度実績は申請５件、助成金額１，０００，０００円となった。

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

有害鳥獣捕獲状況　　（　）わな捕獲内数

鳥獣区分	ヒグマ（頭）	エゾシカ（頭）	キツネ（匹）	カラス（羽）	ドバト（羽）	ｱﾗｲｸﾞﾏ（匹）※
７年度	4（0）	434（14）	143（18）	70（51）	0（0）	470（442）
６年度	4（0）	204（12）	108（22）	76（66）	0（0）	205（186）
５年度	7（2）	298（10）	133（47）	86（78）	0（0）	154（154）

※アライグマは「特定外来生物」

キツネのエキノコックス感染状況調査結果

	ベイト散布前	ベイト散布後
調査月	2023年5月22日	2025年10月15、16日
検体数	151検体	174検体
抗原 陽性：虫卵 陽性	39検体（25.8%）	1検体（0.6%）
抗原 陽性：虫卵 陰性	38検体（25.2%）	24検体（13.8%）
抗原 陰性：虫卵 陰性	74検体（49.0%）	149検体（85.6%）

（1）　猟友会有害鳥獣駆除助成金　　９１，０００円
（2）　有害鳥獣捕獲報償費　　５，４２８，５００円
（3）　キツネ捕獲等委託料　　３，９６５，３９０円
（4）　有害鳥獣処分委託料　　２，５６５，８６０円
（5）　カラス捕獲檻管理委託料　　３９０，０００円
（6）　地域エゾシカ対策事業助成金　　２２，３６０円
（7）　銃猟免許新規取得者助成金　　１００，０００円
（8）　エキノコックス対策業務委託料　　４０９，２００円
（9）　有害鳥獣駆除無線機導入事業助成金　　４０４，８００円
(10)　有害鳥獣駆除用品導入事業助成金　　４９０，０００円

４.森林環境譲与税基金事業運用実績

令和元年度から譲与（配分）が開始された森林環境譲与税は、士幌町における間伐や人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に必要な事業に要する経費の財源に充て、基金への積立てを行った。

（単位：円）

区　分	項　目	内　容	金　額
歳　入	森林環境譲与税	－	9,521,000
	基金利子	－	18,310
	基金繰入金	－	1,858,407
	計		11,397,717
歳　出	輝く未来につなぐ森林整備事業	民有林の下刈・保育間伐事業の経費へ一部補助	5,418,337
	森林作業道等整備事業	森林作業道等の維持管理	715,000
	認定こども園及び発達相談Ｃ改築に係る備品購入	木材を使用した製品の購入	5,264,380

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

	積立金	―	0
	計		11,397,717
年度末基金残高　12,789,904円			

9．林 道 費

林道整備は森林の多面的機能を維持的に発揮していくための基盤であり、持続可能な森林経営を実現するために、簡易で丈夫な使いやすい道づくりを進め、林業の生産向上に努めている。

本年度は、森林環境保全整備事業国庫補助事業道営林道「ワッカ美加登線」事業の開設延長１８１ｍが実施され本年度全線開設し、平成２２年度より実施してきた本事業が完了した。

（単位：千円）

	国・道補助金	町負担金
負　担　内　訳	29,469	9,823

10．そ の 他

コミュニティセンター利用状況

利用延べ団体数	利用人数
133 団体	4,699 人